

丸安産業

電子材料事業と医薬品原料といった素材を扱う化成品事業を中心に成長を続けるコニシグループの丸安産業。既存製品を拡販していくとともに、新しい商材を戦列に加えながら、さらなる飛躍を目指す。

2016年度の業績は増収減益となった。売り上げ増大に寄与したのが、全体の売上高の3割を占める主力の電子材料事業で、なか

でも好調だったのがコンデンサー向け材料。医薬品原料、化粧品原料、健康食品原料などで構成する化成品事業も国内外で堅調に推移した。

海外ビジネスはシンガポール向けに医薬品関連副資材の出荷が順調で、台湾では現地法人などを通じてスマートフォンならびに半導体製造装置向けの消耗品が伸びた。

利益については輸出入に関わる費用がかさみ減益となった。

新たな3カ年中期経営計画の1年目に当たる今年度は既存製品・事業をより一層伸展さ

せていく。期待を寄せられるコンデンサー向け材料。

スマートフォン、IoT(モノのインターネット)、自動車をはじめ電装化が進む野でますますコンデンサーの引き合いが増えてくることから、品揃えを拡充するなど対応を図っていく。

食品関連では機能性表示食品向け材料の取り扱いを強化する。

海外展開も推進していく。コンデンサー向け材料を柱とする電子材料事業、化成品事業、そしてスパッタリングターゲット材料などを手掛ける薄膜事業を軸に、中華圏、韓国、東南アジアの代理店と連携しながら海外ビジネスを育成していく。中計最終の19年度には現状約15%の海外売上高比率を20〜25%に引き上げる。

コンデンサー材料を拡充